

東京大学大学院農学生命科学研究科
生物材料科学専攻 森林化学研究室 講師 公募

1	職名及び人数	講師 1名
2	採用予定日	令和5年2月1日以降
3	任期	あり 3年、再任可。ただし、1回限りとし、再任の場合の任期は2年（以内）
4	勤務地	東京都文京区弥生 1-1-1 弥生キャンパス
5	所属□	大学院農学生命科学研究科 生物材料科学専攻
6	業務内容	1) 研究領域：森林化学に関する領域 2) 教育： （大学院）森林生物化学特論 I および II、木材保存学特論、バイオマス化学特別講義Ⅲ、バイオマス利用研究ゼミナール I および II、生物材料科学特別実験 I および II、生物材料科学演習、生物材料科学特別実験、生物材料科学特別演習 ほか （学部）生物素材化学概論、森林生物化学、バイオマス生物工学、生物材料化学実験、生物材料物理学実験、生物材料生物学実験、生物素材化学実験 I および II、バイオマス科学実習、生物素材化学実習、生物素材化学演習、卒業論文（生物素材化学専修）、ほか なお、上記に加えて、大学院農学生命科学研究科共通科目、教養学部前期課程の講義を担当して頂くことがあります。
7	就業時間	専門業務型裁量労働制（1日7時間45分働いたものとみなされます。）
8	休日・休暇	土・日、祝日法に基づく休日、年末年始（12月29日～1月3日） 年次有給休暇、特別休暇 等
9	給与	学歴・職務経験等を考慮して決定。昇給制度あり。 参考 博士修了/34万円～ 諸手当、賞与（年2回）、通勤手当（原則55,000円まで）の他、本学の定めるところによる。
10	社会保険等	文部科学省共済組合、厚生年金保険、雇用保険（法令の定めるところにより加入）
11	応募資格□	1) 博士の学位を有すること。 2) 木質バイオマスに含まれる成分の生合成と生分解を中心とする森林化学の研究分野において優れた研究業績を有し、学生の教育指導等を積極的に行えること。 3) 木質バイオマス有効利用を目的として、生物化学的手法、生物工学的手法、生物情報学的手法等により、木材成分の生合成と生分解を中心とする森林化学に関する基礎および応用研究を、積極的に展開・推進することができること。 4) 上記6の2) 項に掲げた講義・演習等を担当できること。
12	提出書類	1) 履歴書（東京大学統一履歴書を以下のURLからダウンロードし作成すること。） http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/r01_j.html 2) 研究業績（著書、原著論文、総説、その他） 3) 教育業績 4) 社会貢献（学会活動、委員会活動等） 5) 競争的資金の獲得状況 6) 主要論文の別刷、5編以内 7) これまでの研究概要（1000字程度） 8) 着任後の研究方針（1000字程度） 9) 教育計画と抱負（1000字程度） 10) 自己の研究・教育経歴等について評価できる方2名の氏名、職名及び連絡先
13	応募締切	令和4年11月15日（火）必着 書類選考の上、合格者に対し面接を実施します。
14	書類送付先及び問い合わせ先	〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科 生物材料科学専攻 担当：稲山正弘 TEL: 03-5841-5253 E-mail: ainayama@g.ecc.u-tokyo.ac.jp 封筒に「森林化学研究室 講師 応募書類在中」と朱書きし、記録が残る方法で送付のこと。
15	試用期間	採用日から6ヶ月間
16	募集者名称	国立大学法人東京大学
17	その他	応募書類は返却いたしませんので、予めご了承ください。 取得した個人情報、本人事選考以外の目的には利用しません。 東京大学は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎します。 受動喫煙防止措置の状況：敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり） 外為法等の定めにより、採用時点で、海外との兼業や、外国政府等からの多額の収入がある場合、研究上の技術の共有が制限され、本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があります。このような場合、兼業等については、本学における研究上の技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。 英語の能力を考慮します。